

インディアカ



さいたま

<http://sia.main.jp/>

平成27年 9月25日発行

号外

発行責任者

埼玉県インディアカ協会 会長 秋谷昭治

編集 SIA広報部

中央大会開催される

平成27年度 インディアカ各種目No.1

男子



優勝【グリーンジャイアント】

女子



優勝【ザ・イース】

シニア女子

連覇



優勝【天元】

スーパーシニア女子

初



優勝【フルーエンジェル】

男女混合

初



優勝【ひまわり T】

シニア男女混合

初



優勝【ひまわり】

スーパーシニア男女混合

初



優勝【とんぼ】

例年にない猛暑も一段落した8月23日(日)桶川サンアリーナにおいて埼玉県インディアカ・中央大会が開催されました。県内の東西南北各ブロック予選を通過した強豪92チームが集結し、他の大会と違う意気込み、雰囲気、姿勢が選手から感じられました。午前中のサブアリーナ、冷房がない中での試合は少し心配しましたが残暑を吹き飛ばす熱気あふれる展開でした。

決勝戦は、選手と家族、ブロックの応援が一体となって館内を盛り上げてくれました。一部試合を継続しながらの閉会式でしたが、選手の皆様、桶川市の役員、スタッフの方、大会役員の皆様、大変お疲れ様でした。

(この大会は、平成27年度関東甲信越ブロック大会出場選考会を兼ねています。)

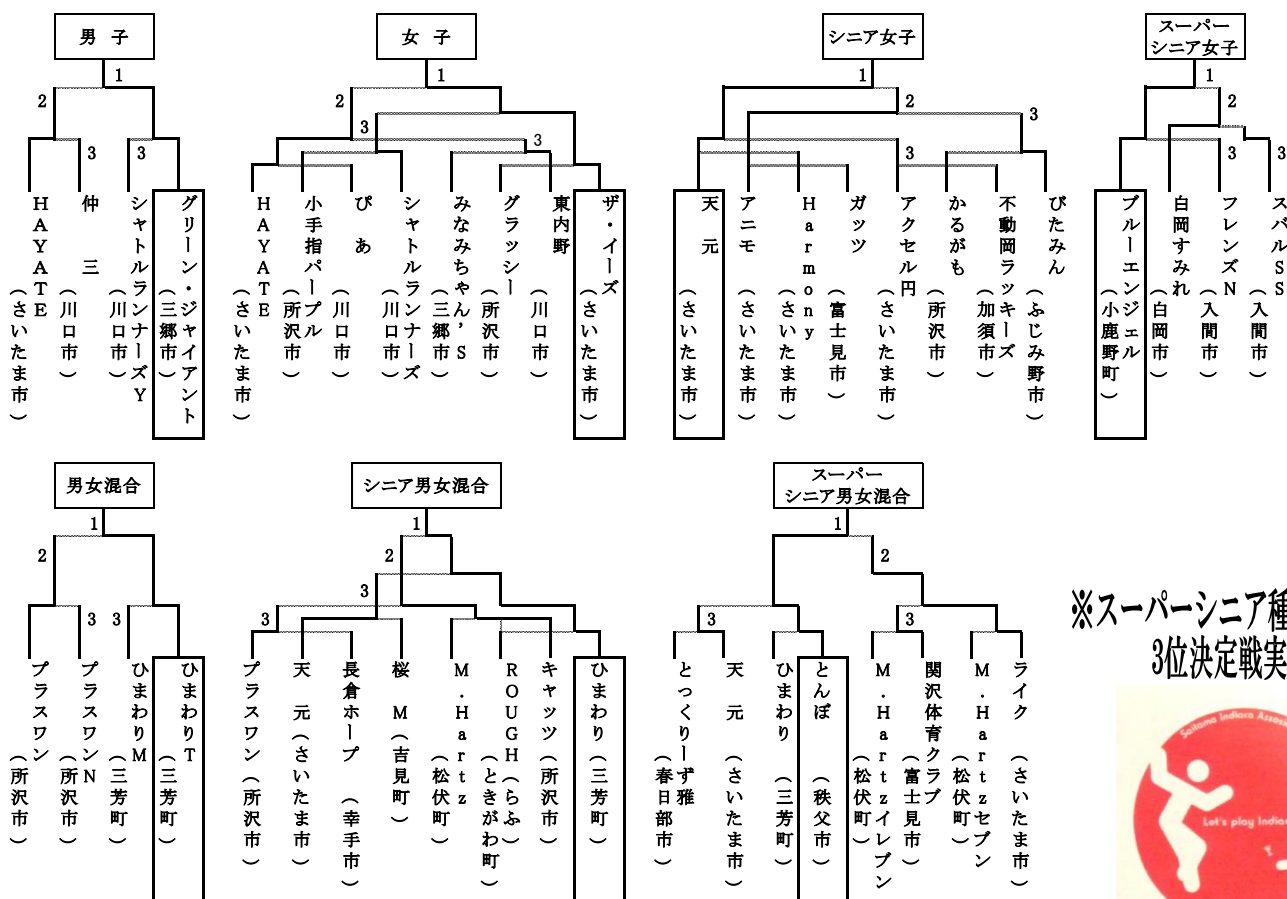
【どちらも絶対に勝】 優勝を目指して、3 セットで競うゲームが多くみられました。



開会式においてワールドカップ大会で審判を行う「佐伯・小松原・代田」の国際審判員3名と大会出場チーム「プラスワン・ひまわり」の紹介がありました。



決勝トーナメント対戦組合せと勝敗結果



※スーパーシニア種目以外
3位決定戦実施



open Indiacca World Cup in Saitama city

第4回 インディアカ ワールドカップ

平成27年8月25-29日 さいたま市記念総合体育館に於いて開催されました！



さいたま市記念総合体育館

プラスワン準優勝



参加チーム (39チーム) 平成27年8月25日～29日(さいたま市記念総合体育館にて)

種 目	ドイツ	エストニア	ルクセンブルク	スイス	日本	合計
男子	2	1	1	2	2	8
女子	2	2	1	2	2	9
男女混合	2	2	1	2	2	9
シニア男子	1	1	0	1	1	4
シニア女子	1	1	0	1	1	4
シニア男女混合	1	1	1	1	1	5
合 計	9	8	4	9	9	39

ワールドカップ予選大会開始 5ヶ国強豪 39 チームが集結

25 日午後 6 時より開会式

日本・スイス・ルクセンブルク・エストニア・ドイツ



8月25日5ヶ国が集まり華々しく開催されました。予選から白熱した試合が多く日本コールが響き渡りその結果全種目の準決勝戦に日本チームが残り、埼玉県代表シニア男子「プラスワン」は準決勝を勝ち進み、全力で決勝に臨みましたが惜しくも銀メダルの準優勝となりました。他チームも、3位決定戦で頑張りましたが4位となり、シニア男子以外の全種目4位を日本チームが独占しました。もう一步でメダル獲得でしたが、世界の壁(ネット)の高さに苦戦をしいられました。表彰式でメダル獲得チームとハイタッチと最後まで素晴らしい応援が繰り広げられました。全般的に外国チームのマナーは素晴らしく我々埼玉だけでも学びましょう。

日本で初めてのインディアカ ワールドカップ

日本代表チーム

種 目	チーム名(所属県名)	
男子	調和 (東京都)	鈴蘭 (千葉県)
女子	飛翔 (愛知県)	Color (愛知県)
男女混合	ひまわり (埼玉県)	フレッシュクラブ(千葉県)
シニア男子	プラスワン (埼玉県)	
シニア女子	木の津エンジェル(京都府)	
シニア男女混合	日越クラブ (新潟県)	

チビッコ応援団大声援



審判お疲れ様でした



スイスから来ました 巨人アタッカー



「プラスワン」銀メダル受賞



ニッポンの皆さんワールドカップ大会無事終了することが出来ました。アリガトウゴザイマシタ。次回開催国はポーランドです。

ワールドカップチーム順位決定！

大会結果

種 目	優勝	準優勝	3 位	4 位
男子	ドイツチーム	スイスチーム	ルクセンブルクチーム	鈴蘭 (日本)
女子	スイスチーム	エストニアチーム	スイスチーム	Color (日本)
男女混合	スイスチーム	エストニアチーム	エストニアチーム	ひまわり (日本)
シニア男子	ドイツチーム	プラスワン (日本)	エストニアチーム	スイスチーム
シニア女子	エストニアチーム	スイスチーム	ドイツチーム	木の津エンジェル(日本)
シニア男女混合	ドイツチーム	エストニアチーム	スイスチーム	日越クラブ (日本)

編集後記

中央大会は熱戦が続き 19 時で終了せず、特に「男女混合」の力の拮抗を感じた。世界大会は「チームを鼓舞するかけ声や動作」「身体の一部でもネットを超えればファール」のルールなど……いろんなインディアカを見ることが出来ました。日本チームの活躍や役員の働きにも感動しました。

広報部

鶴巻篤子 栗原一雄 矢尾板勲 斉藤淑子 手島トミ子 安藤功 白井義数

「ひまわり」予選勝ち抜き戦



観客席も大興奮で日本コール



もうちょい賞



アタック賞



県協会応援スタッフの皆さんおつかれさまでした

